

函 環 埋

令和6年(2024年)7月18日

民生常任委員会委員 各位

環 境 部 長

参考資料の配付について

このことについて、令和6年1月22日付けで参考資料配付しました「日乃出清掃工場整備工事に伴う可燃ごみの処理について」において、各種対策を実施してもなお処理できない可燃ごみが発生した場合における七五郎沢廃棄物最終処分場への埋立てに備え、専門家等の意見を踏まえ検討するとしていた埋立方針を策定しましたので、下記のとおり資料を配付します。

記

- 1 七五郎沢廃棄物最終処分場埋立方針（可燃ごみ）について

(環境部埋立処分場)

## 七五郎沢廃棄物最終処分場埋立方針（可燃ごみ）

この埋立方針は、日乃出清掃工場の焼却炉の更新工事に伴う焼却できないごみの処理対策として、事業系の草枝類の搬入先を埋立処分場に変更し埋立処分するほか、各種対策を実施してもなお処理できない可燃ごみが発生した場合の埋立処分に備え、周辺環境や埋立処分場に最大限配慮した埋立処分手法を示すものである。

### 基本方針

有機物を含む可燃ごみの埋立については、処分場の安定化や浸出水処理、周辺環境への影響など様々なリスクが伴うことから、処分場の残余容量や今後の埋立箇所を見据えるとともに、浸出水処理の影響等を考慮した埋立場所を選定し、臭気や飛散、鳥獣等の対策に効果的な手法によるものとする。

なお、埋立にあたっては、この埋立方針を埋立処分場の近隣住民へ十分説明し、理解を得ながら進めることとする。

### 1. 草枝類の埋立

#### （1）草枝類の一時堆積場所

- ・ 不燃ごみおよび可燃ごみの埋立や搬入作業の支障とならない**3ブロック中央部**に堆積する。

#### （2）草枝類の処分

- ・ 事業系の刈り取った草や枝類は、一時堆積のうえ、**乾燥をさせて減容してから埋立**てる。
- ・ 乾燥が促進するよう、**薄く堆積するとともに、一定期間おきに攪拌**する。

## 2. 可燃ごみの埋立

---

### (1) 可燃ごみの埋立場所

- ・ 遮水シートが整備されている**3ブロック**に埋立てる。
- ・ 不燃ごみの埋立に支障にならず搬入車両が集中し混雑しない、かつ盛土整備を行える十分なスペースのある**3ブロック北西側**に埋立てる。
- ・ 有機分の高い浸出水が直接的に水処理施設に流入しないよう、**ガス抜き管から離れた場所**に埋立てる。

### (2) 臭気・鳥獣への対策

- ・ 臭気拡散の抑制，カラスなどの鳥獣対策として，**即時かつ厚い覆土を行うことのできる「額縁方式※」による埋立**を行う。

※額縁方式…盛土した落とし場から落とし込み，ごみが一定の厚さに達したときなどに土をかぶせる埋立方法

- ・ カラスなどの飛来を抑制するため，**防鳥器具等を設置**する。
- ・ 周辺環境への影響を観測するため，**臭気測定器によるモニタリング**や**特定悪臭物質調査**を行う。

### (3) ごみの飛散防止対策

- ・ ごみの飛散や散乱を防止するため，**即時に覆土できる「額縁方式」による埋立**を行う。

### (4) 水処理対策

- ・ 老朽化している水処理施設の**回転円板を更新し，4基構成で処理**を行う。
- ・ 浸出水の状況を把握し適切な処理対策を行うため，**水質のより細やかなモニタリング**を行う。
- ・ 浸出水の急激な水質変化や水量増加などに対応するため，**調整池に一時的に貯水**できるよう，常に**空き容量を多く確保**する。

## 3. その他

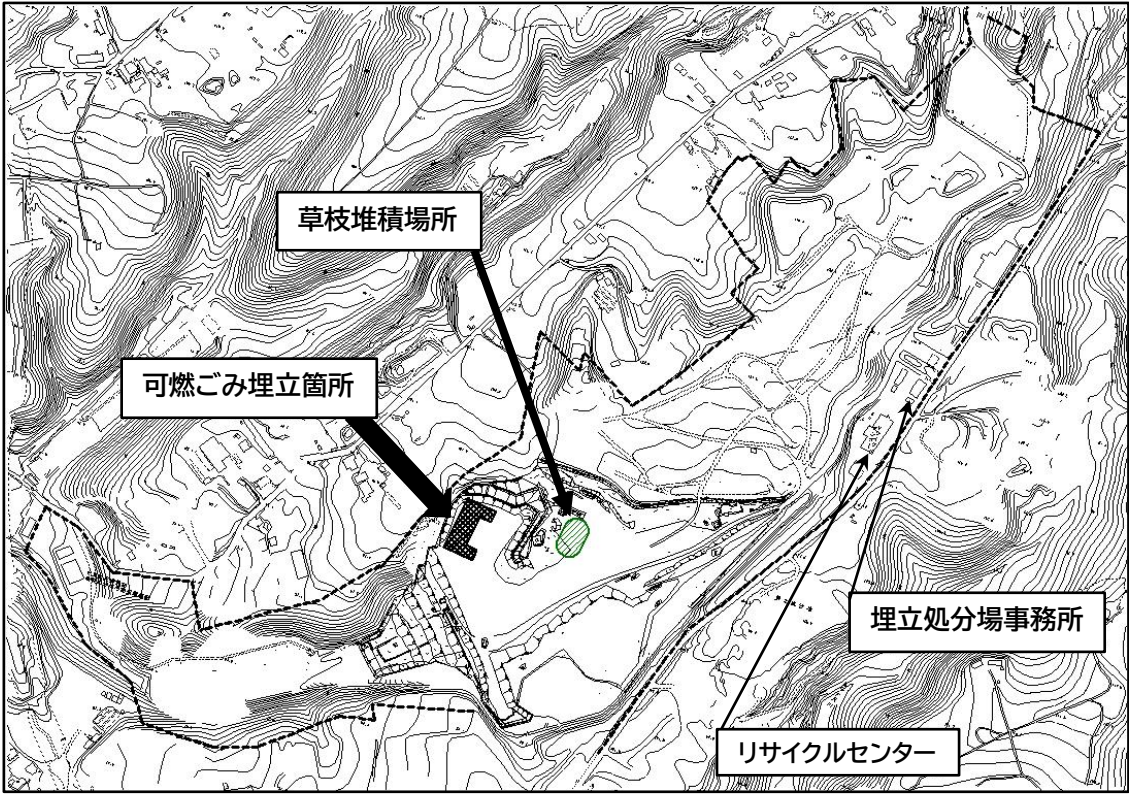
---

### (1) 交通渋滞対策

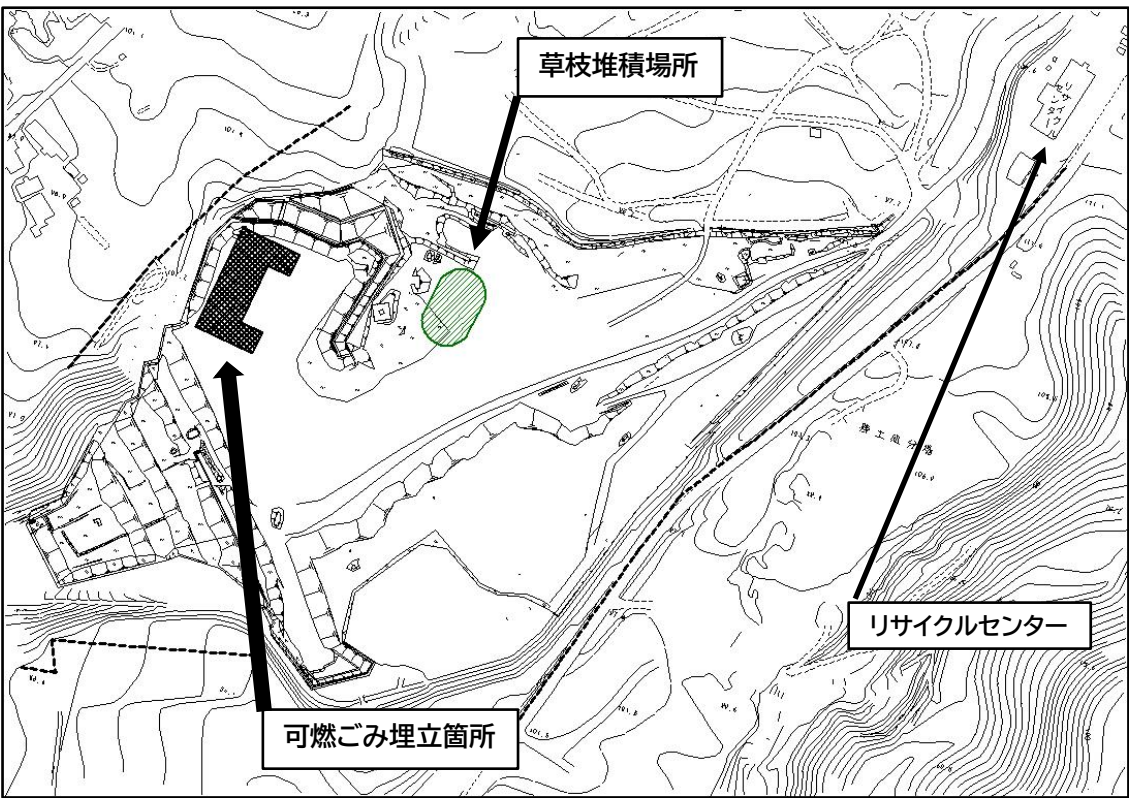
- ・ **事前予約制の活用**により，搬入車両が一時的に集中しないよう，家庭系燃やせないごみなどの**自己搬入車両の台数を制限**し，渋滞緩和を図る。
- ・ ゴミ収集運搬委託車が，できる限り**新外環状道路**を活用するなど，**極力市街地を通行しないよう指導**する。
- ・ 可燃ごみの搬入期間は，処分場入口の市道の交通量増加による渋滞などの通行障害の発生が想定されるため，**市道に注意喚起の看板を設置**するとともに，**交通警備誘導員を配置**し，交通安全の確保を図る。

# 埋立予定箇所図

函館市七五郎沢廃棄物最終処分場



函館市七五郎沢廃棄物最終処分場(詳細)



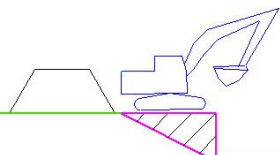
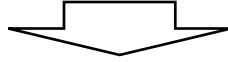
## 埋立手法(額縁方式)

埋立準備

①

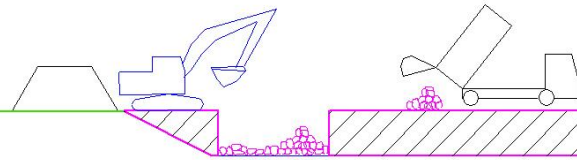
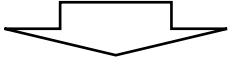


可燃ごみ受入前までに覆土層(盛土層)及び仮設道路を施工する。



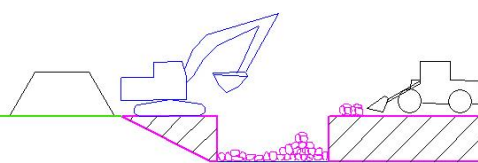
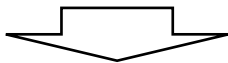
②

バックホウにて幅5m×長さ60m×深さ2mの可燃ごみ投入溝を掘削



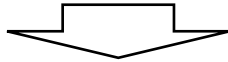
③

収集車両より可燃ごみを投入溝手前に下ろす。



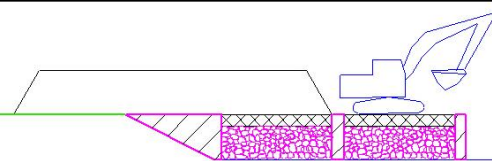
④

ホイールローダーにて投入溝を可燃ごみを落とす。  
バックホウにて投入溝内のごみを均し転圧する。  
投入溝に落とすことにより、ごみが飛散しづらく、カラスなども寄りつきづらくなる。



⑤

ブルドーザーにて覆土の均し転圧。更に他の転圧重機にて転圧を行う



⑥

上記②～⑤を繰り返す。